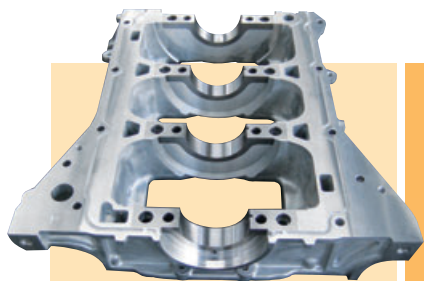


RYOBI

株主のみなさまへ

第95期 中間報告書

平成18年4月1日から平成18年9月30日まで



DIE CASTINGS



PRINTING EQUIPMENT

BUILDERS' HARDWARE



POWER TOOLS



contents

ごあいさつ	2
決算の要点解説	3・4
事業の概況	5・6・7
トピックス	8
連結財務諸表	9・10
単独財務諸表	11・12
株式の概要	13
会社の概要・役員	14



67.5%

ダイカスト事業

世界トップクラスのダイカストメーカーとしてのノウハウ、日本・米国・欧州での生産体制などを活かし、自動車メーカーなどとの関係強化・拡充をはかっています。ダイカスト事業の世界戦略体制を一層強化するため中国・大連でも生産を開始しました。

13.5%

住建機器事業

この事業は、パワーツール（電動工具、園芸用機器等）と建築用品（ドアクローザ、ヒンジ、建築金物等）で構成しています。

■パワーツール

小型、軽量、コンパクトをコンセプトにした商品開発体制、日本と中国・大連での生産体制などを活かし、プロ用からDIYまでニーズに応えた商品を提供しています。

■建築用品

特長のある商品の開発、生産性向上によるコストダウンの推進、価格競争力の強化などにより、収益性の向上をはかっています。主として中国・大連、台湾で生産しています。



連結売上高
構成比

19.0%

印刷機器事業

精度の高い多色化と機能の高度化を追求し、世界市場での評価を一層強固にするため、新商品の開発、生産力・販売力の強化などを進めています。また、IT化・デジタル化に対応した商品や環境に配慮した商品を開発するなど、マーケットニーズに合った商品の拡充に取り組んでいます。



ごあいさつ

技術と信頼と挑戦で、健全で活力にみちた企業を築く。

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

第95期（平成19年3月期）中間報告書をお届けするにあたり、ごあいさつ申し上げます。

当社グループは「技術と信頼と挑戦で、健全で活力にみちた企業を築く。」を企業理念としております。お客様や社会のニーズに応え、独創的で高品質な商品やサービスを創造し、提供することにより、かけがえのない存在になることを目指しております。また、ダイカストと完成商品をあわせもつ企業として成長・発展し続けるために、競争力の強化、収益力の向上に努めております。

昨今注目されているCSR（企業の社会的責任）につきましては、当社グループの企業理念を実践することがCSRの推進であると認識しております。企業情報の適時開示、コンプライアンス、リスク管理、内部統制など、いろいろな面でコーポレート・ガバナンスを充実しているところです。

当社は収益力の向上、企業体質の強化をはかりながら、業績に応じた安定した配当を継続することを基本にしており、当期の配当につきましては、期末配当としてまとめて行う予定にしております。

株主の皆様には引き続きご理解とご支援を賜りますとともに、今後とも末永くご愛顧をいただきますようお願い申し上げます。

平成18年12月



代表取締役会長

代表取締役社長

浦上 浩

吉川 進

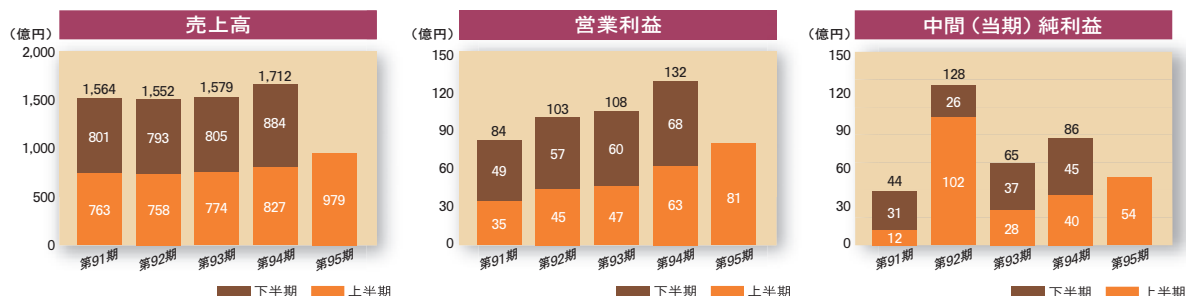
決算の要点解説

売上高は3期連続の増収

営業利益・経常利益はともに5期連続の増益で、過去最高

中間純利益は2期連続の増益

通期も増収・増益の見込み



■連結の業績推移

科目	第93期(中間) (16.4~16.9)	第94期(中間) (17.4~17.9)	第95期(中間) (18.4~18.9)	第93期(通期) (16.4~17.3)	第94期(通期) (17.4~18.3)	第95期(通期見通し) (18.4~19.3)
売上高(百万円)	77,422	82,734	97,973	157,964	171,232	201,000
営業利益(百万円)	4,780	6,321	8,128	10,834	13,214	15,800
経常利益(百万円)	5,143	6,571	8,294	11,301	13,407	15,800
中間(当期)純利益(百万円)	2,806	4,057	5,460	6,581	8,635	9,500
1株当たり中間(当期)純利益(円)	16.77	24.24	32.59	39.33	51.31	56.69
総資産(百万円)	155,370	160,265	192,772	157,420	177,864	—
純資産(百万円)	51,550	59,966	70,392	55,293	66,756	—
1株当たり純資産(円)	308.02	357.82	414.42	330.62	398.35	—

※第93期、第94期の純資産には「少数株主持分」を含んでおりません。

●売上高・利益の状況

当中間期のわが国経済は、企業の設備投資の増加、雇用環境の改善などにより堅調に推移してきました。しかし、為替の変動、原油や原材料価格の高止まり、米国自動車メーカーの業績不振など内外の景気の先行きに楽観できない状況が続きました。

このような情勢のもとで、当社グループは積極的な販売活動を進めるとともに、ユーザーニーズをとらえた新商品の開発、原価低減や経費削減、業務の効率化など諸施策を実行しました。

その結果、当中間期は下記の「業績推移」に記載のとおり連結、単独とも増収・増益となりました。

売上高はダイカスト、印刷機器、住建機器の全事業で伸ばし、連結は3期連続の増収、単独は4期連続の増収で過去最高額となりました。特に、ダイカスト事業と印刷機器事業が好調でした。

売上高の増加、原価低減の取り組みなどにより、連結の営業利益・経常利益は5期連続の増益で過去最高額でした。単独は営業利益が4期連続、経常利益が5期連続の増益で、ともに過去最高額でした。中間純利益は、連結、単独とも2期連続の増益となりました。

●資産・負債等の状況

当中間期の連結総資産は、流動資産では売上債権の増加、固定資産では有形固定資産の増加などにより、前期末に比べ増加しました。

受取手形割引高を除いた連結の有利子負債残高は、380億円となりました。

連結の純資産は、中間純利益による増加や配当金の支払いによる減少などにより703億円となり、自己資本比率は36.0%となりました。

●通期の見通し

原油や原材料価格の高止まり、米国の経済動向、為替の変動など、引き続きいろいろな懸念材料があります。

当社グループとしては、商品開発力・製造力・販売力を高めるとともに、さらなるコストダウンや生産性向上の取り組みを一層徹底して、競争力の強化、収益力の向上をはかります。

現時点における通期の業績見通しは、下記のとおり連結、単独とも前期比増収・増益を見込んでいます。売上高はダイカスト、印刷機器、住建機器の全事業で伸ばし、利益についても売上高の増加などにより増益となる見通しです。連結、単独の営業利益・経常利益は過去最高額を更新する見通しです。

■単独の業績推移

()内は平成・月

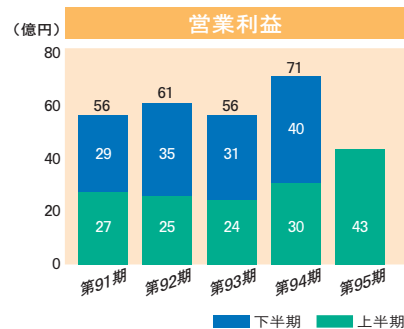
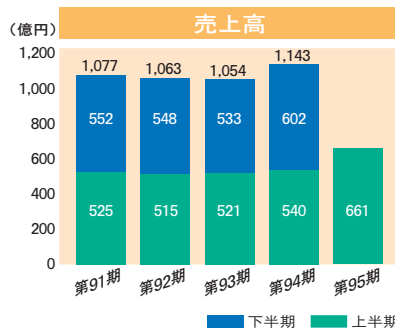
科 目	第93期(中間) (16.4~16.9)	第94期(中間) (17.4~17.9)	第95期(中間) (18.4~18.9)	第93期(通期) (16.4~17.3)	第94期(通期) (17.4~18.3)	第95期(通期見直し) (18.4~19.3)
売上高(百万円)	53,036	59,462	71,688	112,387	126,390	152,000
営業利益(百万円)	2,477	4,387	6,042	6,943	10,166	12,600
経常利益(百万円)	3,006	4,936	6,622	7,908	11,092	13,500
中間(当期)純利益(百万円)	1,657	2,926	3,972	4,505	6,751	8,100
1株当たり中間(当期)純利益(円)	9.88	17.48	23.68	26.87	40.02	48.28
総資産(百万円)	120,377	122,814	148,203	121,828	137,088	—
純資産(百万円)	46,562	52,686	59,374	49,363	58,190	—
1株当たり純資産(円)	277.68	314.01	353.89	295.10	346.83	—

事業の概況

ダイカスト事業

売上高は661億60百万円(前中間期比22.4%増)、営業利益は43億84百万円(同41.7%増)、売上高営業利益率は6.6%(前中間期は5.7%)となりました。日本・米国の自動車メーカー向けが堅調で増収となりました。利益については原材料価格の値上がりなどの厳しい状況が続きましたが、売上の増加やコストダウンなどにより増益となりました。

地球環境保護・省資源・省エネルギーは世界的なテーマであり、ダイカストはこれらを実現する有効な技術として、今後ますます成長することが期待されています。自動車分野はもとより、家電、OA機器、産業機械、建築用品などさまざまな分野へも用途を拡大するとともに、コストダウン・生産性向上に一層注力します。

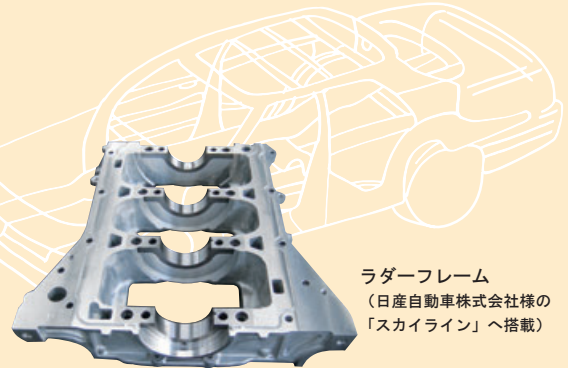


軽さとリサイクル性で、省エネルギー・省資源に貢献するダイカスト

当社は、金型の設計・製作から鑄造、加工、組立に至るまで一貫して行う世界トップクラスのダイカストメーカーです。

ダイカスト製品は、軽量かつ耐久性に富み、リサイクル性に優れています。特に、軽量化により低燃費を目指す自動車においては、エンジン、トランスミッションなど数多くの部品に当社のダイカスト製品が採用されています。

例えば、日産自動車株式会社様の新型車「スカイライン」のエンジン部品にも当社の製品(ラダーフレーム)が使われています。



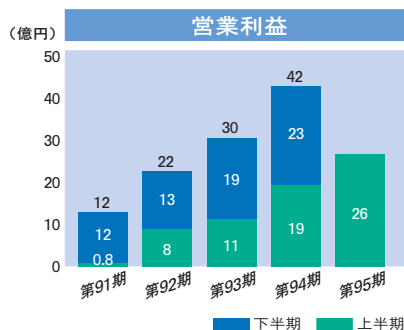
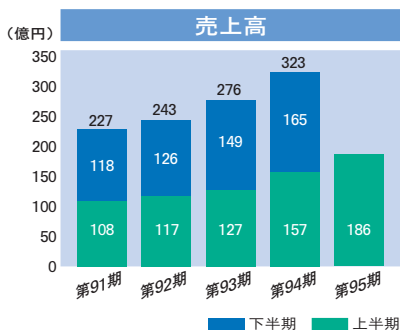
ラダーフレーム
(日産自動車株式会社様の「スカイライン」へ搭載)

印刷機器事業

売上高は186億18百万円(前中間期比18.4%増)、営業利益は26億82百万円(同38.6%増)、売上高営業利益率は14.4%(前中間期は12.3%)となりました。欧州・米州・アジア向けを中心に輸出が好調で、特に中型印刷機(B2・A2・B3サイズ)の販売を伸ばし増収となりました。利益については売上高の増加とコストダウンを一層進めたことにより増

益となりました。

今後もユーザーニーズをとらえた商品開発・販売促進活動を積極的に行うとともに、中型印刷機の需要増に対応した生産能力の増強をはかり、一層の収益拡大を目指します。



RYOBI 750シリーズ用に全自動刷版交換装置を開発

世界中で好調な販売を続けているRYOBI 750シリーズ用に、全自動刷版交換装置「RYOBI Full-Automatic Plate Changer」を開発しました。これまで各印刷ユニット毎に行っていた刷版の交換作業が、タッチパネルディスプレイのボタン操作だけですばやく行えます。オペレータは自動刷版交換中に他の仕事の準備が並行して行えるため、作業の切り替え頻度が多い多品種・小ロット印刷の準備時間削減と生産性の向上を実現します。



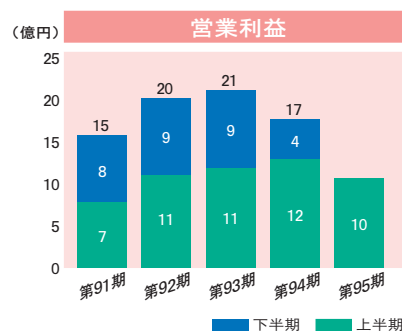
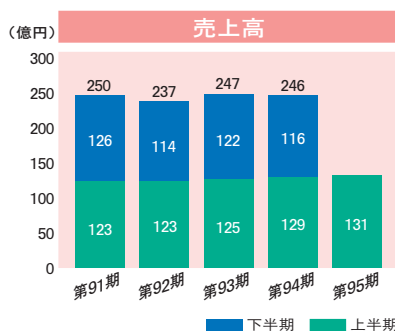
事業の概況

住建機器事業

売上高は131億94百万円(前中間期比1.8%増)、営業利益は10億61百万円(同17.8%減)、売上高営業利益率は8.0%(前中間期は10.0%)となりました。

競争がますます激化する中で、パワーツールの国内、建築用品の国内・輸出で売上をわずかに伸

ばしましたが、利益の面では減益となりました。今後も海外で生産する強みを活かしてコストダウンを進め、価格競争力のある商品、特長のある商品を提供していきます。



軽量・コンパクトボディでワンクラス上の切断を実現 プロ向け電子丸ノコ「W-570ED/W-660ED」

強さと軽さを兼ね備えた電子丸ノコ「W-570ED/W-660ED」を発売しました。電子制御によるモーター回転数の低下抑制と当社独自の動力伝達機構によって従来モデルに比べて高い切断能力とワンクラス上の切込み深さが得られます。

さらに、本体質量を当社従来モデルと比較して約20%軽量化し、プロユーザー向けの画期的な商品として高い評価を得ています。



耐震ドアの変形にも対応できるドアクローザ コンシールドドアクローザ「COU-52M」

コンシールドドアクローザはドアの中に埋め込むもので、ホテルなどの高級ドアに使用されています。建物の安全性が注目されている中、耐震ドアに対応したコンシールドドアクローザ「COU-52M」を発売しました。

「COU-52M」は、新たな機構を採用し、地震により耐震ドアが変形した場合でもスムーズな開閉が可能です。



トピックス

広島東工場の生産能力を強化

ダイカスト製品の生産能力の増強をはかるため、平成18年2月から広島東工場敷地内に建設を進めていたダイカスト鋳造工場が8月に完成しました。新工場の延べ床面積は約11,200㎡で、材料の溶解から鋳造、加工までを一貫して行うことができる最新鋭のダイカスト工場を目指します。また、4月に完成したグラフィックシステム第2工場が本格的な稼働を開始し、中型印刷機の生産量は本年3月時点に比べて50%アップしました。なお、米国・欧州・アジアなどからの受注が引き続き旺盛で、さらに需要増が見込まれることから、第3工場（延べ床面積約9,200㎡）を建設することにしました。平成19年1月に着工し、7月に完成する予定です。



新ダイカスト鋳造工場



グラフィックシステム第2工場（右奥）

中国にダイカストの生産拠点を建設

中国でのダイカストの生産拠点として遼寧省大連経済技術開発区に建設を進めていた利優比圧鋳（大連）有限公司の社屋が平成18年7月に完成しました。延べ床面積は約12,000㎡（第1期工事）で、11月からダイカスト用金型の生産を開始し、平成19年11月からはダイカスト製品の量産を行う予定です。



利優比圧鋳（大連）有限公司の社屋

印刷機材展「IPEX2006」へ出展

平成18年4月4日～11日の8日間、世界4大印刷機材展のひとつ「IPEX2006」がイギリスのバーミンガムで開催されました。

当社は、過去最高となる約900㎡のスペースに8色印刷機「RYOBI 758P」をはじめ、7機種の印刷機や周辺機器を展示し、お客様のニーズに応える最適な印刷システムを提案しました。

欧州をはじめ世界各国のお客様から高い評価を受け、現在、好調な注文をいただいています。



連結財務諸表

■ 貸借対照表 (平成18年9月30日現在)

(単位：百万円)

【資産の部】

科 目	当期(中間)	前期(期末)
● 流動資産	107,112	96,891
現金及び預金	14,384	17,894
受取手形及び売掛金	48,887	42,691
有価証券	4,754	604
たな卸資産	35,473	31,919
繰延税金資産	1,438	1,386
その他	2,222	2,461
貸倒引当金	△ 48	△ 64
● 固定資産	85,660	80,973
有形固定資産	66,953	60,306
建物及び構築物	18,927	16,992
機械装置及び運搬具	22,850	18,809
土地	19,578	19,576
建設仮勘定	3,009	2,435
その他	2,587	2,492
無形固定資産	1,886	1,827
投資その他の資産	16,820	18,839
投資有価証券	13,244	15,264
繰延税金資産	1,367	1,312
その他	2,270	2,348
貸倒引当金	△ 62	△ 85
資産合計	192,772	177,864

【負債の部】

科 目	当期(中間)	前期(期末)
● 流動負債	94,195	83,588
支払手形及び買掛金	46,414	35,818
短期借入金	22,313	26,425
未払法人税等	2,877	3,373
賞与引当金	2,180	2,202
その他	20,408	15,768
● 固定負債	28,185	26,579
長期借入金	15,747	13,397
繰延税金負債	2,755	3,265
再評価に係る繰延税金負債	674	674
退職給付引当金	6,662	6,906
持分法適用に伴う負債	406	417
その他	1,938	1,917
負債合計	122,380	110,167

【純資産の部】

● 株主資本	71,009	—
資本金	18,472	—
資本剰余金	23,681	—
利益剰余金	29,627	—
自己株式	△ 770	—
● 評価・換算差額等	△ 1,562	—
その他有価証券評価差額金	5,148	—
繰延ヘッジ損益	△ 0	—
土地再評価差額金	626	—
為替換算調整勘定	△ 7,336	—
● 少数株主持分	945	—
純資産合計	70,392	—
負債及び純資産合計	192,772	—

【少数株主持分】

● 少数株主持分	—	940
----------	---	-----

【資本の部】

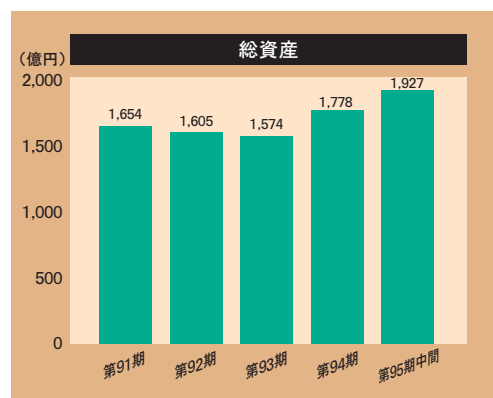
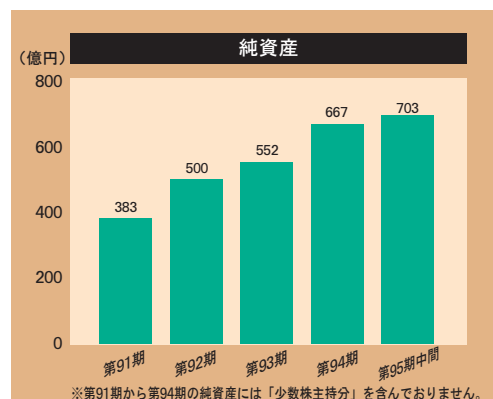
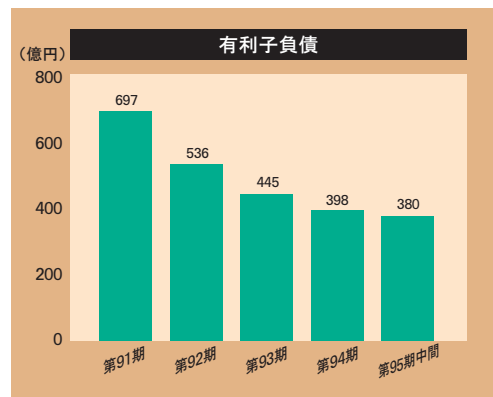
● 資本金	—	18,472
● 資本剰余金	—	23,680
● 利益剰余金	—	25,885
● 土地再評価差額金	—	626
● 株式等評価差額金	—	6,228
● 為替換算調整勘定	—	△ 7,370
● 自己株式	—	△ 766
資本合計	—	66,756
負債、少数株主持分及び資本合計	—	177,864

■ 損益計算書 (平成18年4月1日から平成18年9月30日まで) (単位：百万円)

科 目	当期(中間)	前期(中間)
●売上高	97,973	82,734
●売上原価	78,115	65,083
●販売費及び一般管理費	11,729	11,329
営業利益	8,128	6,321
●営業外収益	861	859
●営業外費用	695	609
支払利息等	380	335
その他の営業外費用	315	274
経常利益	8,294	6,571
●特別利益	935	7
投資有価証券売却益	770	—
その他の特別利益	165	7
●特別損失	876	202
固定資産処分損	108	202
役員退職慰労金	763	—
その他の特別損失	5	—
税金等調整前中間純利益	8,353	6,375
●法人税等	2,875	2,159
●少数株主損益	16	158
中間純利益	5,460	4,057

■ キャッシュ・フロー計算書 (単位：百万円)

科 目	当期(中間)	前期(中間)
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,134	7,971
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 4,023	△ 3,607
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 3,336	△ 5,441
現金及び現金同等物に係る換算差額	18	15
現金及び現金同等物の増減額(減少：△)	1,793	△ 1,062
現金及び現金同等物期首残高	16,097	15,303
現金及び現金同等物中間期末残高	17,890	14,240



単独財務諸表

■ 貸借対照表 (平成18年9月30日現在)

(単位：百万円)

【資産の部】

科目	当期(中間)	前期(期末)
●流動資産	86,773	78,375
現金及び預金	6,182	10,577
受取手形	4,902	4,159
売掛金	37,883	35,546
たな卸資産	24,547	22,607
その他	13,263	5,489
貸倒引当金	△ 5	△ 4
●固定資産	61,429	58,713
有形固定資産	35,916	31,829
建物	9,015	7,079
機械及び装置	8,670	6,533
土地	15,785	15,785
その他	2,444	2,431
無形固定資産	417	340
投資その他の資産	25,095	26,543
投資有価証券	18,927	20,858
その他	6,175	5,713
貸倒引当金	△ 6	△ 28
資産合計	148,203	137,088

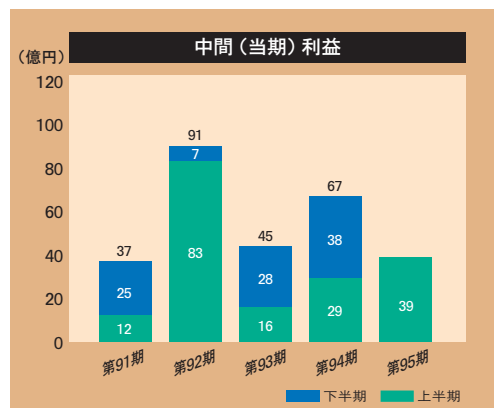
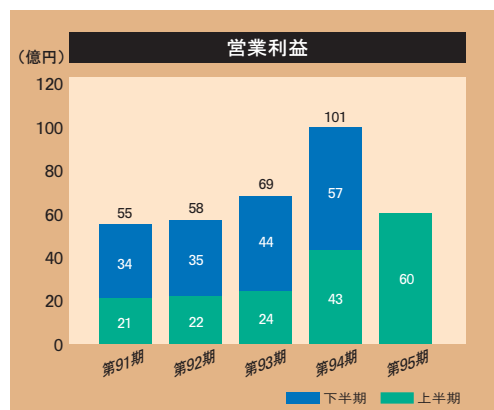
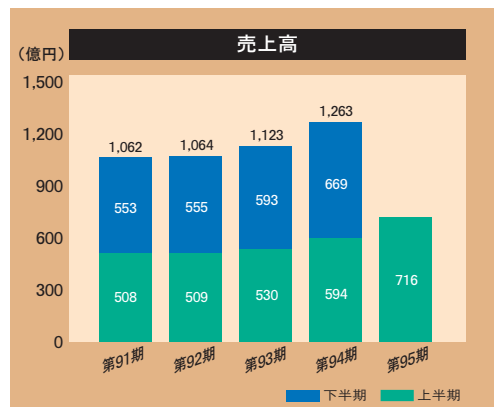
【負債の部】

科目	当期(中間)	前期(期末)
●流動負債	70,450	61,457
支払手形	6,229	5,453
買掛金	29,815	22,907
短期借入金	16,792	19,901
未払金	8,890	4,695
賞与引当金	1,414	1,451
その他	7,308	7,049
●固定負債	18,378	17,439
長期借入金	12,792	11,078
退職給付引当金	4,195	4,350
その他	1,390	2,011
負債合計	88,828	78,897
【純資産の部】		
●株主資本	54,410	—
資本金	18,472	—
資本剰余金	23,654	—
資本準備金	11,617	—
その他資本剰余金	12,037	—
利益剰余金	13,013	—
その他利益剰余金	13,013	—
特別償却準備金	35	—
繰越利益剰余金	12,977	—
自己株式	△ 729	—
●評価・換算差額等	4,963	—
株式等評価差額金	4,964	—
繰延ヘッジ損益	△ 0	—
純資産合計	59,374	—
負債及び純資産合計	148,203	—
【資本の部】		
●資本金	—	18,472
●資本剰余金	—	23,654
資本準備金	—	11,617
その他資本剰余金	—	12,036
資本準備金減少差益	—	11,900
自己株式処分差益	—	136
●利益剰余金	—	10,761
当期末処分利益	—	10,761
●株式等評価差額金	—	6,028
その他有価証券評価差額金	—	6,028
●自己株式	—	△ 724
資本合計	—	58,190
負債及び資本合計	—	137,088

(注) 1.有形固定資産の減価償却累計額	42,253百万円	41,985百万円
2.受取手形割引高	1,511百万円	810百万円
3.保証債務	8,452百万円	9,499百万円
4.自己株式保有数	3,455,001株	3,450,052株

■ 損益計算書 (平成18年4月1日から平成18年9月30日まで) (単位: 百万円)

科 目	当期(中間)	前期(中間)
●売上高	71,688	59,462
●売上原価	58,624	48,497
●割賦販売損益繰延金	△ 310	△ 477
●販売費及び一般管理費	7,331	7,055
営業利益	6,042	4,387
●営業外収益	953	920
●営業外費用	374	372
支払利息	215	212
その他の営業外費用	158	159
経常利益	6,622	4,936
●特別利益	775	8
投資有価証券売却益	770	—
その他の特別利益	4	8
●特別損失	837	115
固定資産処分損	68	115
役員退職慰労金	763	—
その他の特別損失	5	—
税引前中間純利益	6,560	4,828
●法人税等	2,587	1,901
中間純利益	3,972	2,926
前期繰越利益	—	4,009
中間未処分利益	—	6,936



株式の概要

- 会社が発行する株式総数……………500,000千株
- 発行済株式総数……………171,230千株
- 自己株式保有数……………3,455千株
- 株主数……………11,602名
- 株式の上場……………東京証券取引所

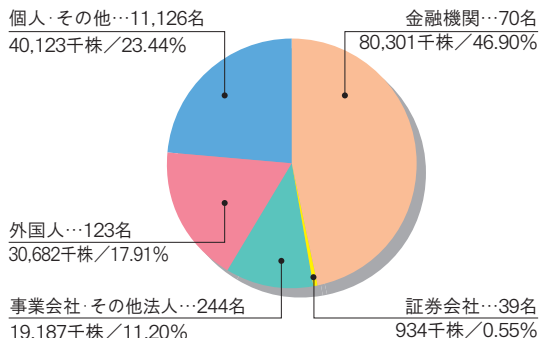
■ 大株主

株主名	当社への出資状況	
	持株数(千株)	出資比率(%)
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社信託口	14,766	8.62
明治安田生命保険相互会社	9,300	5.43
第一生命保険相互会社	8,067	4.71
日本生命保険相互会社	7,823	4.57
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社信託口	7,069	4.13
株式会社三菱東京UFJ銀行	6,523	3.81
財団法人浦上奨学会	5,180	3.03
菱工会持株会	5,048	2.95
ピクテアンドシーヨーロッパエスエー	3,650	2.13
住友信託銀行株式会社	3,503	2.05

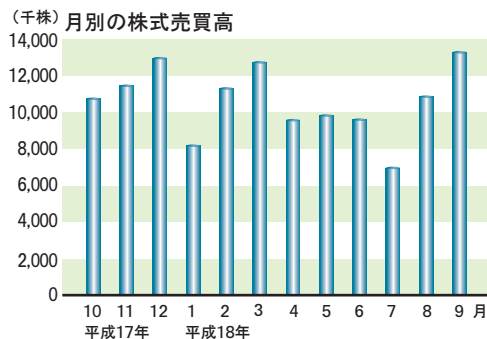
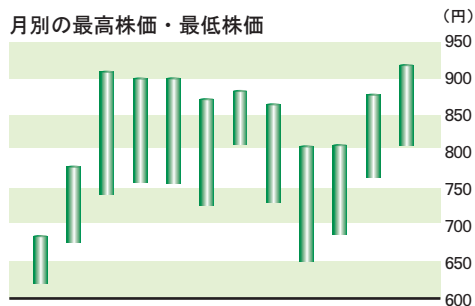
■ 配当金 (1株当たり)

	第92期	第93期	第94期	第95期 (予想)
年間 配当金	7円50銭	7円50銭	10円	10円

■ 株式分布状況 (所有者別) 合計 11,602名 / 171,230千株



■ 株価及び株式売買高の推移



会社の概要・役員

会社の概要

- 社名……リョービ株式会社
- 英文社名……RYOBI LIMITED
- 設立年月日……昭和18年12月16日
- 資本金……184億7,219万円
- 社員数……2,039名（平成18年10月31日現在）

■主要商品

ダイカスト製品

印刷機器（オフセット印刷機、編集ソフト等）

パワーツール（電動工具、園芸用機器等）

建築用品（ドアクローザ、ヒンジ、建築金物等）

■本社・支社・支店・営業所・工場

本社…〒726-8628 広島県府中市目崎町762番地 ☎(0847) 41-1111

東京支社…〒114-8518 東京都北区豊島5丁目2番8号 ☎(03) 3927-5541

虎ノ門オフィス…〒105-0003 東京都港区西新橋1丁目7番1号
虎ノ門セントラルビル ☎(03) 3927-5541

大阪支店…〒569-1135 大阪府高槻市今城町24番12号 ☎(072) 685-1122

営業所…札幌・仙台・浜松・名古屋・富山・広島・福岡

広島工場…〒726-8628 広島県府中市目崎町762番地 ☎(0847) 41-1111

広島東工場…〒726-0002 広島県府中市鞆町800番地の2 ☎(0847) 40-1600

静岡工場…〒421-3292 静岡県静岡市清水区蒲原5215番地の1
☎(0543) 85-3101

印刷機器工場…〒726-0023 広島県府中市栗柄町444番地の1 ☎(0847) 45-5871

主なグループ会社

●ダイカスト事業

リョービミラサカ株式会社

リョービミツギ株式会社

株式会社東京軽合金製作所

生野株式会社

RYOBI DIE CASTING(USA),INC.

RYOBI ALUMINIUM CASTING

(UK),LIMITED

利優比压铸（大連）有限公司

●印刷機器事業

リョービイマジクス株式会社

●住建機器事業

リョービ販売株式会社

リョービパワーツール株式会社

利優比（大連）机器有限公司

良友精工股份有限公司

（平成18年12月4日現在）

役員

■取締役

代表取締役	浦上 浩
代表取締役	吉川 進
取締役	田中 孝雄
取締役	横山 隆志
取締役	加村 幹夫
取締役	室家 士郎
取締役	石井 浩司
取締役	浦上 彰
取締役	鈴木 健二郎
取締役(社外)	大岡 哲

■監査役

常勤監査役	小林 照三
監査役	高橋 宏明
監査役(社外)	豊田 國弘
監査役(社外)	加藤 大朗

■執行役員

会長	浦上 浩
社長	吉川 進
常務執行役員	田中 孝雄
常務執行役員	横山 隆志
常務執行役員	加村 幹夫
常務執行役員	室家 士郎
執行役員	石井 浩司
執行役員	浦上 彰
執行役員	鈴木 健二郎
執行役員	伊東 邦侑
執行役員	本川 直道
執行役員	檀上 和秋
執行役員	大澤 章治
執行役員	堂本 秀樹

「くらしごこち」がテーマです。



■ 株式事務についてのご案内

- 決 算 期 3月31日
- 配 当 期 期末配当金支払株主確定関係／3月31日
中間配当金支払株主確定関係／9月30日
- 定時株主総会 6月中
- 基 準 日 3月31日
(その他必要がある場合は、あらかじめ公告
いたします。)
- 公 告 の 方 法 電子公告「<http://www.ryobi-group.co.jp/>」
- 株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社
- 同事務取扱場所 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
- 郵便物送付先
及び電話照会先 〒541-8502
大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
TEL 0120-094-777 (フリーダイヤル)
- 同 取 次 所 三菱UFJ信託銀行株式会社 全国本支店
野村證券株式会社 全国本支店

リョービホームページでは、IRや商品等の最新情報に加えて、事業内容等を映像(動画)で紹介しています。ぜひご覧ください。

<http://www.ryobi-group.co.jp/>



リョービ株式会社

〒726-8628 広島県府中市目崎町762番地 ☎(0847) 41-1111



※この中間報告書はリョービ書体で制作しています。
また、古紙配合率100%再生紙と大豆インキを使用しています。